



上手な質問、親身な答え

昨日提出してもらった「総合的な学習の時間」における「大学探訪計画書」から、君たちがどんなテーマを設定しているのか紹介してみよう。まだ、迷っている人がいたら、参考にしてほしい。

- それぞれの大学の良さを関係者に聞く。
- 2つの大学の授業やテキストの違いについて教授に質問し、比較する。
- 二つの大学の雰囲気の違いをつかむ。どのような教授なのかを知るためにインタビューする。
- それぞれの大学・学部の違いを学生にインタビューして調べる。
- 国立と私立の方針や雰囲気の違いを、探訪・インタビューを通して調べる。
- 私立大学・国立大学での授業内容や就職先などについての違いを調べる。単科大学・総合大学の違いについて、オープンキャンパス参加とインタビューでまとめる。
- 法学部と社会学部で政治学を学ぶ違い。
- 他大学の文（国際教養）学部との違い・特色を学生（先輩）にインタビューする。
- 言語文化学部と国際社会学部で学ぶことの違いと、将来の進路の違い。
- 授業内容や各大学の雰囲気、また、自分が勉強していく内容をまとめる。
- 他大学・学部との違いを、講演会や学生の方にインタビューすることで知る。
- 実際に行ってみることで、進学する学部を決定する（私立大学）。
- 卒業生の進路が専門性に特化しているのか、海外へ進出しているのか、などを聞く。
- 筑波大学と東洋大学の心理学分野におけるそれぞれの特色およびその比較。

- 東京大学理学部に入ったメリットを学生に聞く。東京大学理学部と慶応義塾大学理工学部の比較・検討を行う。
- 建築学科の教授の作品と卒業生の進路・作品について。

*

こうやって並べてみると、テーマだからかも知れないが、まだ抽象的な人がある。

例えば、君たちが「日比谷の良さは何ですか？」みたいな質問をされても（もちろん、先生が素晴らしいとか（笑）、イイ友だちに恵まれるとか、行事が充実しているとか、色々答えられるとは思いますが…）、結局は万人向けの当たり障りのない答えになってしまうに違いない。そうではなくて、自分の知りたい情報がピンポイントで得られるようなテーマ設定を工夫してみよう。

だから、例えば訪問先で具体的に質問する際には、「他大学の法学部との違いは何ですか？」という聞き方ではなくて、「●●大学法学部との一番の違いは何ですか？」といった質問の方がよい。また「卒業生の進路についてはどうですか？」ではなくて、「公務員になれる方の割合はどれくらいですか、また、一般企業に就職される方の主な就職先にはどんな企業がありますか？」といった聞き方の方がベターなわけである。

今回はテーマを並べただけだから、そこまではまだ具体的に考えていないのかも知れないが、実際に訪問する際には、しっかりとした質問事項を複数考えて行くようにしたいものだ。イイ質問者に対しては、答える方も親身になってくれるものだからである。